

豊明市行政評価制度「施策」評価票

施策評価票番号

10

関連（環境課環境保全担当）

1 施策の概要

1-1 施策の名称	下水道			基本施策コード	1 2 6
1-2 担当	部	経済建設部	課 又は施設	都市計画課	評価票作成者 都市計画課長 野村 芳明
1-3 総合計画 における施策の体系	節	生活環境「安全・安心で、うるおいのあるまちづくり」			
	項	水と緑の環境づくり			
1-4 施策の目的	公共下水道整備により、清潔で文化的な生活が可能な環境を整える。				

	平成22年度評価 (前期の成果)	平成27年度評価 (全期間の成果)
担当課評価	A	
総合評価	A	

施策評価の判定基準

- A : 施策の目的を効果的に達成しているため継続する
- B : 施策推進の実手法等に改善の必要がある

1-5 総合計画における基本成果指標	基本成果指標名	前期（平成18年度～平成22年度）			全期間（平成23年度～平成27年度）			指標の定義
		目標値（単位）	実績値（単位）	達成率（%）	目標値（単位）	実績値（単位）	達成率（%）	
	公共下水道の整備と促進	68.0（%）	64.0（%）	94.1（%）	72.0（%）			公共下水道の整備率
	農村集落排水設備の維持管理（管更生延長）	7,120m	6,664m	93.6（%）	8,120m			污水管への地下水流入防止

2 施策の担当課による評価結果

評価の内容	今後の環境変化を踏まえた課題認識	既存事業の構成や優先順位の考え方、新規事業の必要性の考え方	施策の担当課としての単年度の取り組みの自己評価
平成18年度	未接続者と使用料滞納者の削減を図るとともに下水道財政の健全化の確立。	経費の削減と未接続者削減を図るとともに使用料金を見直し、財政計画をたてたなかで市街化調整区域整備に向けた準備が必要。	市民を交えた検討委員会意見書の取りまとめの終了。調整区域整備に向けた整備優先順位（案）が作成されたことにより、実施に向けて前進した。
平成19年度	〃	〃	集落排水施策（処理場、管路）計画どおり推進した。
平成20年度	〃	下水道使用料金を見直すために、下水道事業の状況についての説明会を実施し市民に理解を得ることができた。	〃
平成21年度	未接続者と使用料滞納者の削減を図るとともに下水道財政の健全化の確立。管渠施設等の長寿命化の検討。農集排の公共下水道への切り替え。	経費の削減と未接続者削減を図るとともに使用料金を見直し、財政計画をたてたなかで市街化調整区域整備に向けた準備が必要。下水道施設の長寿命化計画。農集排から公共下水道への移行。	集落排水施策（処理場、管路）を計画の通りに完了した。下水道使用料金の改定を行い、運営の健全化を進めた。
平成22年度	使用料滞納者への督促を積極的に進めた結果、徴収額は対前年約1,500千円増（約30%増）となった。管渠施設においては、施設の長寿命化（耐震対策を含め）に対する調査・研究が必要である。		
平成23年度	市街区域に接する市街化調整区域の公共下水道への接続条例を制定した。管渠施設の長寿命化（耐震対策を含め）に向け調査が必要である。		
平成24年度	料金徴収業務を一括で愛知中部水道企業団に移行した。農業集落排水の公共下水道への移行、下水道事業認可、管路施設の長寿命化・耐震対策、業務継続計画（BCP）に対する調査・検討が必要である。		
平成25年度			
平成26年度			
平成27年度			

